



# かごしまフットサル事情

## 『クラブ努力』

07-08シーズン、鹿児島県のフットサルトップリーグであるプレミアリーグを制し、九州リーグに舞台を移して2年目を迎えたFEVOLVE鹿児島フットサルクラブ(以下:フィヴォルヴ)。kagoshimaFRと並んで鹿児島を代表するフットサルクラブに成長した理由を「クラブ努力」というテーマに焦点を絞ってご紹介したいと思います。

が強い...と前号でも記載させていたが、こつこつという側面においても顕著に見られる。しかし、フィヴォルヴはクラブ努力によってそれを勝ち得た。在籍メンバーの中に池田学園の生徒がいるという事がそもそものきっかけではあるが、代表の鮫島氏を中心にフィヴォルヴが置かれている現状とチームプロフィールを準備し、貸し手である池田学園長との面談を通して交渉に尽力し、体育館を借りる為の努力を惜しまなかった。更に6ヶ月の半期更新契約の為、節目でチームの戦績と、向こう半期の予定を報告し、また、学園主催の文化祭等のイベント事にも寄付贈呈を含め積極的に感謝の気持ちを還元している。一見当たり前のように見えるのだが、その当たり前を当たり前のように自然に出来るチームが鹿児島にも出てきた事に大きな価値がある。



▲青いシャツが佐々木監督



▲前列右から3番目が代表を務める鮫島氏



## FEVOLVE | フィヴォルヴ鹿児島フットサルクラブ

<http://www.fevolve.com/>

- 名前の由来 > 「進化する」という意味を持つ英単語「evolve」に、Fullpower(常に全力で)、Fairplay(フェアな)、Futsal(フットサル)の頭文字「F」を付けた造語。
- コンセプト > 俺達のフットサルで鹿児島を変えよう!
- 創設 > 2002年4月
- 所属 > 九州フットサルリーグ2部
- 主な戦績 > ●第13回全日本フットサル選手権 鹿児島県大会 準優勝 ●鹿児島県プレミアリーグ2007-2008 優勝 ●九州各県フットサルリーグ決勝大会(九州リーグ入替戦) 準優勝 ●2008九州フットサルリーグ2部 4位
- > 代表: 鮫島 弘将 > 監督: 佐々木賢治 > 主将: 中玉利 俊介

「俺達のフットサルで鹿児島を変えよう」  
一言わずと知れたフィヴォルヴのチームコンセプト。保守的な鹿児島にとって一見、刺激的で、懐疑的な見方をする者がいるのかもしれないが、彼らが成し遂げた事はフェアな革新で、鹿児島県のフットサル界にとって前進する為のヒントと勇気もたらしたと言っても過言ではないはずだ。「鹿児島を変えよう」それは、フ

である。この目標を達成する為にチームとしてどういう動きをするべきか代表の鮫島氏と監督を務める佐々木氏を中心に連携に余念がない。また、監督の佐々木氏は、熊本在住であるにも関わらず、時間を確保しては鹿児島に帰り、指導に尽力する情熱に溢れた監督だ。この監督の熱さに選手も黙っているはずがない。



フットサル競技に限ったのではないよう  
な気がする。チームとしてのあり方とそのクラブ努力によって一つのマイナス要因をプラスに変えるお手本を示してくれたのではないか。  
目標を達成する為に何をすべきかチームとして理解し、それを行動に移したフィヴォルヴ。九州リーグ第6節終了時点で、苦戦を強いられているが、いつか大きな花を咲かせる日が来るであろう。

2008年度未現在、鹿児島県のフットサル個人登録者数は4300人を超え、県下総人口に対する登録者率は全国で4番目を誇る。個人登録者数の増加と比例して、競技志向のチームも年々増えてきている。その事自体は大変喜ばしい事だが、鹿児島県↓地域(九州)↓全国を目指す競技志向チームにとって絶対的に不利な事がある。それは、「フットサルコート」の少なさ。つまり、練習場不足である。

る。競技志向のチームはもちろんだが、鹿児島でフットサルを楽しむ者が共通して悩まされている事であり、コートでの練習が週に1回出来れば幸せな方である。しかし、右の表を見てもうればわかるようにフィヴォルヴは、最低でも週に3回のコート練習場を確保している。近年、鹿児島ではフットサルでの使用を許可してくれる学校体育館が減りつつある。意外にも鹿児島は保守的な風土

月 mon	オフ
火 tue	鴨池ドーム 19:00~21:00
水 wed	オフ
木 thu	池田学園体育館 20:00~22:00
金 fri	池田学園体育館 20:00~22:00
土 sat	試合・練習試合(予定が無い場合オフ)
日 sun	試合・練習試合(予定が無い場合オフ)



取材文責  
KOUNCE Japan 代表・昇 龍也